

中経 論壇

日本公認会計士協会東海会
会基礎教育推進委員長
林 直人



が散見されました。

最近、小学五年生に会計の授業をする機会がありました。子ども達に「100円ショップで売っている歯ブラシの原価はいくらでしょう」と質問すると、「150円」「200円」といった回答が返ってきました。

今まで、子どもたちが学校で会計を学ぶ機会はほとんどなく、多くの方が社会に出てから会計に直面するのが現実です。そして、会計に直面しても「何だかよく分からない」といったアレルギーをお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

皆さまもご存知のとおり、「売り上げー原価＝利益」です。しかし、子どもたちには「売価≦原価」という概念が理解できないようです。その後、「売り上げー原価＝利益で、赤字にならないことが大切」と教えても、再び同じ質問をすると、やはり売価より高い原価を回答する子ども達もいます。

学校における会計基礎教育

また私は、ビジネス仕組みを子ども達に教えること、学校で教えること、「もうけること」が結果として、社会に役立つことを理解できないのではないのでしょうか。そして、学んだ子ども達の中から、将来の起業家も生まれるのではないのでしょうか。

本年度より、中学社会科及び高校公民科の学習指導要領解説に「会計情報の活用」が新たに追加されました。また授業全体のほんの一部ですが、それでも一歩前進だと思います。また、日本公認会計士協会も2005年より「ハロー会計」という無料の会計授業を、学校への訪問講義等により実施しています(冒頭のやり取りは、この授業におけるものです)。

今後、子どもたちが会計という経済に深く関わる分野を学び、自らのキャリアを描き、そしてビジネスを通して社会の問題解決に貢献していくことを期待するともに、社会の先輩として「会計基礎教育」を推進していきたいと思えます。

若いうちから会計を学ぶ



PHOTO NEWS

近鉄百貨店は31日、プロ野球オリックスの26年ぶりの日本一を祝し、あべのハルカスに入る本店(大阪市阿倍野区)などで「オリックス・パファローズ 日本一おめでとうセール」を開始した。来月6日まで実施する。本店では午前10時の開店前から約800人が列を作った。セールでは、日本一を記念して「1」に関連する商品を用意。約8千円相当の婦人洋品の詰め合わせや、チーム名にちなんだ国産黒毛和牛100gを税抜き価格千円で販売する。2本で税抜き千円の傘を買いに訪れた大阪市阿倍野区の女性(64)は「オリックスが勝つように応援していた。本店をよく利用するので日本一のセールが始まってうれしい」と話した。セールは四日市店などでも実施する。

オピニオン

Opinion

私は、五感を使ったもの、色彩や香りに興味がある。自

り。私たちは日々、色からパワーストーンをもらい、色で癒やされ

ング

リングはもちろんのこと、育やマーケティングな